

特別養護老人ホーム 杏樹苑

(杏樹苑空床型短期入所事業所含む)

1、総括

令和7年度は、移動時に車いすが必要な方であっても食事の際は、椅子に座りなおしていただき正しい姿勢で食事の機会を持つなど、入居者一人ひとりの生活習慣やニーズを把握する事で、「個別ケア」の実践が定着したと思っております。従来型であるため、多床室での共同生活のかたちは変わりませんが利用者同士が認め合い共存いただく中でも個人が生かされ、受容できる環境を作っていたり取り組みは、継続出来ました。職員の「考える力」を大切にすることで、ケアに新たな気付きが生まれる機会も増えていると思います。食のイベントや外出レクリエーション、ボランティアの受入れも開始し、面会も完全な形ではありませんが再開しております。機能訓練課による、「生活の場」におけるリハビリの実施も定着しております。今後も他職種協働連携の充実を図りながら運営していきたいと考えます。

2、重点取組の成果と課題

重点取組実施項目	実施内容と成果について	次年度への課題
快適な環境	従来型の施設の中で個別ケアの取り組みを実施してきました。働きやすい環境を考えた物品の位置や動線の確保をしました。	物品の補充や確保した動線を職員一人ひとりが理解をする事で、次に使う人を考えた環境作りに努めます。
充実と満足	体操やサークルを毎日楽しみにされている利用者が多くなりました。日常の中での目的を見つける事で日々の充実感に繋がりました。	次年度は引き続き他職種連携強化で充実と満足の提供を行っていきますが、職員が体操やサークル活動へ、利用者と一緒に参加をすることで新しい気付きや普段と違う様子を体感できる取り組みをしていきたいです。
健康と安全	入居者並びにご利用者様の健康を守り安全な環境の確保や健康危機の対策と対応を多職種と連携して行えた。「その人のありのままの生活」を支え、必要な医療提供を行い、安心、安全な生活の継続に務めた。	継続した感染対策を行いながら、入居者並びに利用者の健康を守り、「その人のありのままの生活」を支えられるように、多職種と連携し、適切な医療提供ができるように医療連携を密にしていく。
奉仕活動団体等の受け入れ	手芸や傾聴、各世代の学生のボランティアを受け入れ、活動いただくことが出来た。コンビニエンスストアの来苑販売も実施しました。	ボランティア受け入れ後の確認や受け入れ時に施設側の相談窓口を明確にし、ボランティアの方が活動しやすい環境を整える。
職員の資質向上	委員会やフロアでの係、イベントを職員が担当する事で、今まで以上に考える力が増えました。成功体験を職員自身が体感する事で充実した場面もありました。	反省点もありましたが、振り返りを行うことで次年度への課題が見えました。課題をそのままにせず次年度に繋げていきたいです。
外部機関との連携	入退院を繰り返す方や看取りでの退所者も多くあり、家族の皆様と協力しあい医師を含め、施設内でも連携した取り組みが出来た。新たに入院施設を持つ医療機関との連携を行う事で緊急時の対応や急な受診への対応が可能となった。空床でのロングショート活用から入所へつながることができた。	医療度が高くなり、療養型への転院を検討する中、主治医のみならず、医療機関との連携を充実させなければ、入居者並びに利用者の方々に安心して生活して頂くことが出来ないと考え。施設での生活を知って頂けるようにホームページの充実、SNS活用などを行い、外部に発信することで、特別養護老人ホームを知って頂ける機会を増えることを期待する。
業務連携	施設全体で食事の時間を多職種で見てまわる取り組みをしました。集合での会議だけではなく普段の業務の中でも、多職種を含めた会話が増えました。	引き続き取り組みを実施する事で、書面だけの把握ではなく、実際に見て感じた事を踏まえた話し合いをする事で会議の質向上に努めてまいります。

3、利用実績（入居定員 62 名 空床型短期入所定員 62 名）

	特養 延べ人数	特養 稼働率 (%)	ショートステイ 延べ人数	ショートステイ 稼働率 (%)	新規入居 者数	退居者数	入院者延 べ人数
4月	1,518	81.61	20	1.08	2	4	158
5月	1,642	85.43	41	2.13	1	1	119
6月	1,618	86.99	58	3.12	0	1	74
7月	1,711	89.02	20	1.04	2	1	55
8月	1,691	87.98	18	0.94	3	1	127
9月	1,720	92.47	38	2.04	1	1	47
10月	1,793	93.29	59	3.07	0	1	31
11月	1,760	94.62	37	1.99	3	0	22
12月	1,871	97.35	0	0.00	2	0	45
1月	1,819	94.64	0	0.00	0	1	87
2月	1,631	93.95	14	0.81	0	1	58
3月	1,803	93.81	62	3.69	0	2	32
合計	20,577 人	平均 90.93%	367 人	平均 1.66%	14 人	14 人	855 人

4、事業実績

オンコール出勤件数	5 回
面会者延べ人数	1,135 人
入居相談件数	92 件
ボランティア受け入れ総数	32 件
実習生受け入れ総数	7 件
虐待事例等受け入れ件数	2 件
ケアカンファレンス実施回数	87 件
サービス担当者会議実施回数	31 件
セーフティネット事業	21 件

開催委員会・会議（基本各月 1 回開催）
感染症対策委員会（年 4 回）職員会議
お食事会議・衛生委員会・BCP 会議
リスクマネジメント委員会・優先入所検討委員会
身体拘束ゼロ推進委員会
コンチネンス委員会・虐待防止検討委員会
介護係長会議・介護総リーダー会議
介護フロア会議
施設サービス部会議

行事報告

月	内 容	備 考
令和7年 4月	開設記念日（1日）春のドライブツアー（22日） 誕生日会（随時）	彩の森公園にお出かけして、 外の風を感じながら散歩をさ れました。
5月	菖蒲湯週間（1～7日）端午の節句（5日）八十八 夜・春カフェ（19日）青空そうめんの日（23 日）誕生日会（随時）	新茶の味を楽しみながら和菓 子を召し上がりました。
6月	ドライブスルーで出かけよう（26日）お蕎麦の会 （17日）コンビニ販売（30日）誕生日会（随 時）	普段買えない商品を実際に見 て買い物を楽しまれていまし た。
7月	鉄板焼きデイ（31日）夏カフェ・七夕祭り（7 日） 鰻を食べよう（19日）誕生日会（随時）	七夕の飾りを利用者と一緒 に作成しました。カフェではゼ リーを作り皆様で召し上がり ました。
8月	精霊馬作り（13日）杏樹苑夏祭り（19日）花火 大会（20日 23日）誕生日会（随時）	恒例となった花火大会では今 年もナイアガラ滝を用意し 鑑賞しました。
9月	敬老会（15日）さんまを食べよう（30日） 誕生日会（随時）	さんまを食べようの会では感 染症拡大に伴い出来上がった 物の提供になりました。
10月	秋カフェ/十五夜（6日）秋の味覚を取ろう（22 日） 誕生日会（随時）	きのこをメインとした食材で イベントを計画しました。簡 単な調理は利用者と一緒に行 いました。
11月	芋煮会（4日）秋の味覚で暖を取ろう（25日） 誕生日会（随時）	今年の芋煮会では、各フロア で災害時に必要な物品を作成 しました。
12月	ゆず湯週間（19～26日）クリスマス会（25日） 年忘れ大忘年会（19日）お正月飾りを作ろう 誕生日会（随時）	クリスマス会では実際にサン タが登場し、利用者の方々が 凄く喜ばれていました。
令和8年 1月	初日の出を見よう（1日）餅つき・鏡開き（9 日） 初詣に行こう（11日）誕生日会（随時）	利用者代表の方に新年の挨拶 をして頂き、皆様で新年をお 祝いしました。
2月	節分/冬カフェ（3日）コンビニ販売（20日） 鍋パーティーで暖まろう（27日）誕生日会（随 時）	暖を取りながら、おでん鍋を 提供しました。作る工程から 利用者と一緒におこないまし た。
3月	ひな祭り（3日）春の散策ツアー～桜の会～ （10日）ご当地麺を食べよう（14日） 誕生日会（随時）	自由に選んで頂き、好みのカ ップ麺を召し上がっていただ きました。
<p>・その他サークル活動・通年実施行事等 誕生日会（フロアごと毎月実施。誕生日に合わせ随時実施）、体操サークル、手芸教室、書道教室、フラワーサークル、映画を見る会、歌を唄う会 レクリエーション（フロア毎に随時実施）</p> <p>・行事实施成果と次年度への課題（反省点） 今年度は食事のイベントが多くありましたが、今年度より食べるだけではなく、見て楽しむ事を心がけてイベントを行いました。昨年度に比べてイベントへ参加する利用者も増えました。 次年度は今年度実施したイベントの振り返りを生かした取り組みをしていきます。 職員のイベント・サークルへの参加頻度を増やす事で利用者との交流の時間を増やし、普段と違う様子や表情を感じ取っていくように努めてまいります。</p>		